



80%のさらにその先へ。

# ジェネリック医薬品使用状況報告書 (2019年4月診療分)

2019年12月作成



全国健康保険協会 島根支部  
協会けんぽ



# 目的

---

- 国は国民皆保険制度を堅持する方策の1つとして「2020年9月末までにジェネリック医薬品の使用割合を80%」とする数値目標を定めている。
- 一方、協会けんぽ島根支部においてもジェネリック医薬品の使用割合をKPIとして80.5%を目標（2019年度）に掲げ、達成に向けた取り組みを行っている。
- 協会けんぽ島根支部の2019年4月時点のジェネリック医薬品使用割合は79.8%（協会けんぽ島根支部分）と目標に近い数値ではあるが、今後さらに促進を図るための事業をジェネリック医薬品に関する基礎的な集計分析を行った。

## データの注意点

- 協会けんぽ加入者における2019年4月診療分の医科、DPC、調剤レセプトを対象とする。DPCについてはコーディングデータを対象とする。
- 地域別の集計は、医療機関および薬局の所在地に基づく。
- 数量は薬価基準告示上の規格単位毎に数えたもの。ただし、経腸成分栄養剤、特殊ミルク製剤、生薬、漢方を除く。
- ジェネリック医薬品使用割合は、【後発品数量 ÷ (後発のある先発品数量 + 後発品数量)】
- 医薬品の区分は、厚生労働省「各先発医薬品の後発医薬品の有無に関する情報（令和元年5月29日適用）」による。

## 用語の説明

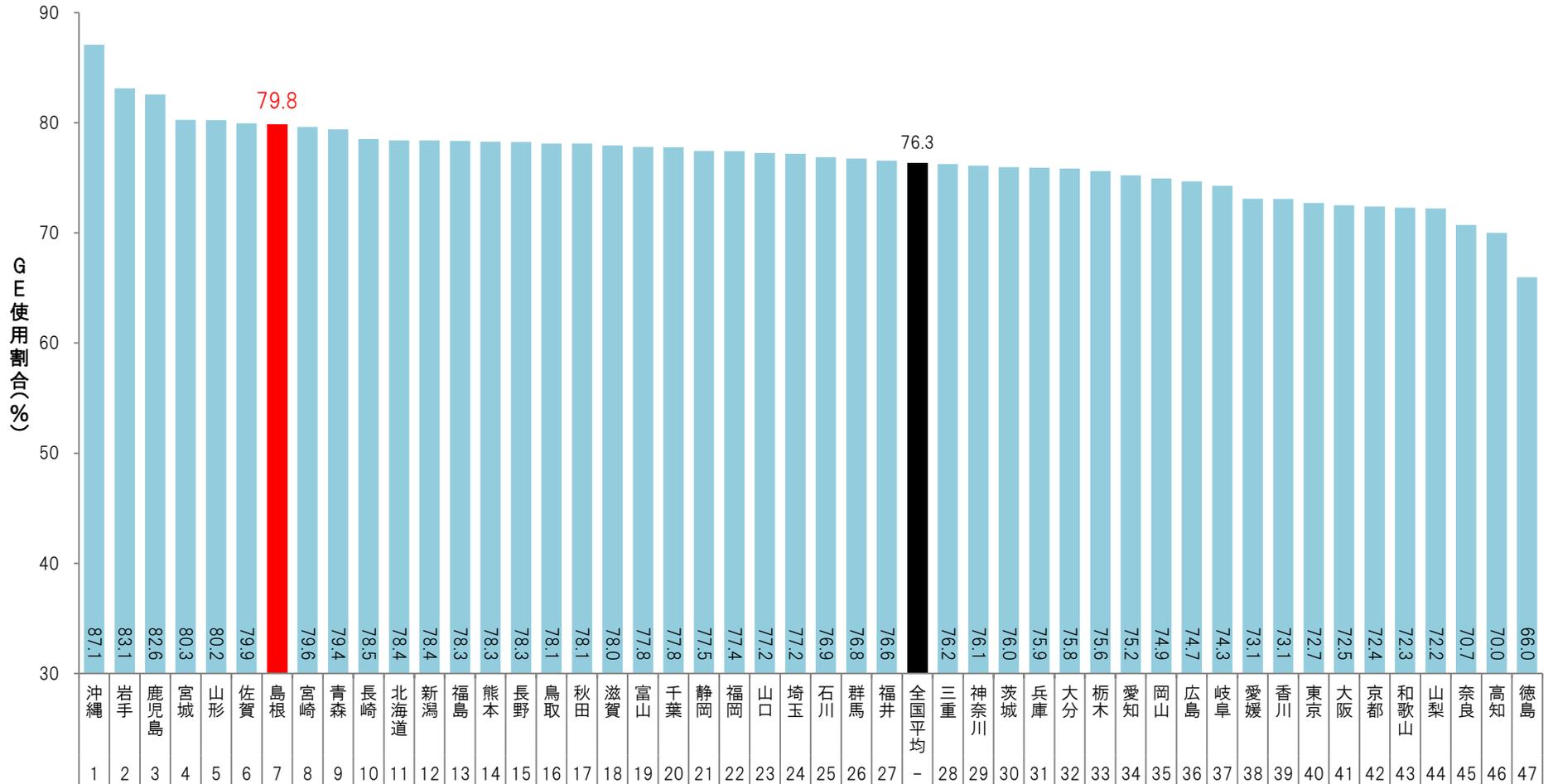
- 本資料では「ジェネリック医薬品」を「GE」と表記する。
- 「影響度」とは、GE使用割合を偏差値に変換し、偏差値50からの差分が県全体のGE使用割合に与える影響を示す。たとえば、影響度が+0.6ならば、当該指標が県全体のGE使用割合を0.6ポイント引き上げていることを意味する。

# 協会けんぽ島根支部における傾向

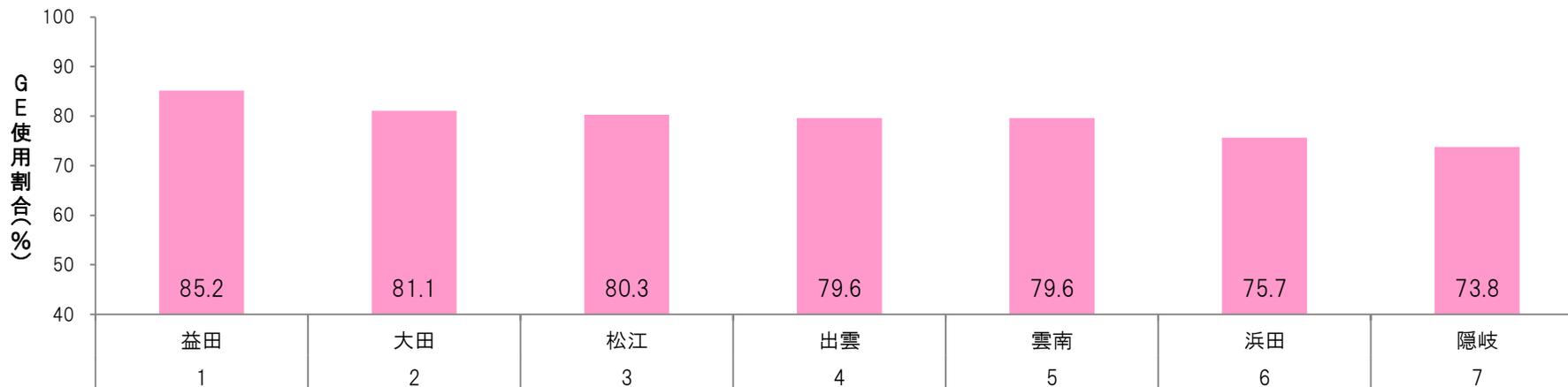
---

- 使用割合は**79.8%**で全国 7 位（2019年4月診療分）
- 二次医療圏別では**浜田圏域**の影響度が $-0.52$ と最も引下げ方向に働いており、次いで隠岐圏域の $-0.14$ となっている
- **院内処方**は院外処方に比べ相対的に使用割合が低い
- 薬効別では影響度が唯一マイナスとなっているのが「**外皮用薬**」である
- 年代別では、40歳以上の年代で使用割合が高いが、**20歳未満**は低くなっており、世代間のギャップがある

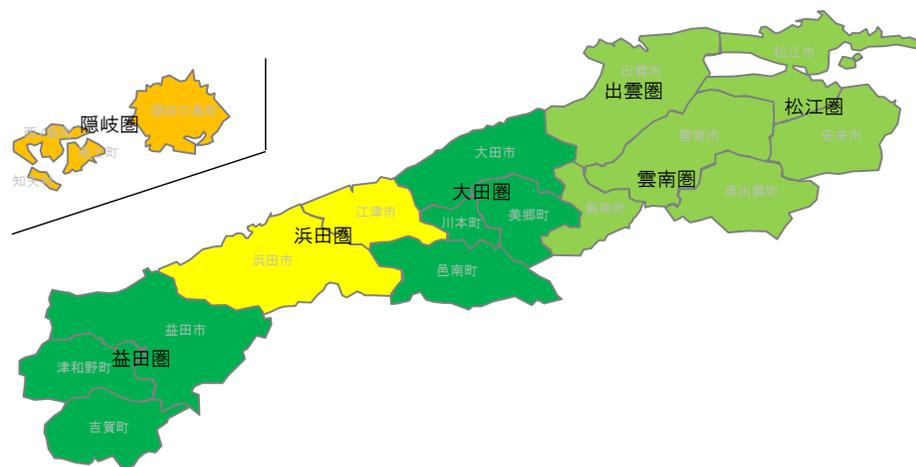
# 支部別GE使用割合／全体（2019年4月診療分）



# 島根支部／二次医療圏別GE使用割合／全体



影響度



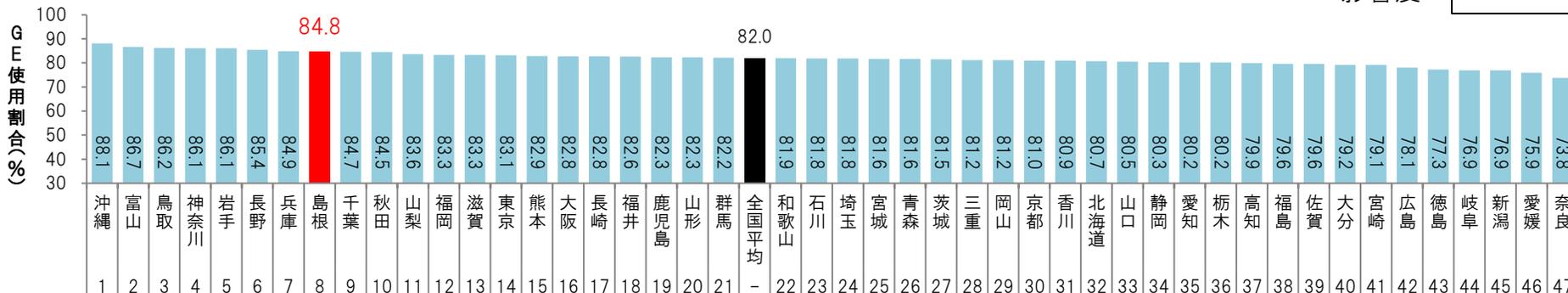
《塗り分け基準》

以上	未満	色
80.5		緑
78	80.5	黄緑
75.5	78	黄
73	75.5	オレンジ
	73	赤

# 支部別GE使用割合／院内処方

## 【入院】

影響度 +0.1



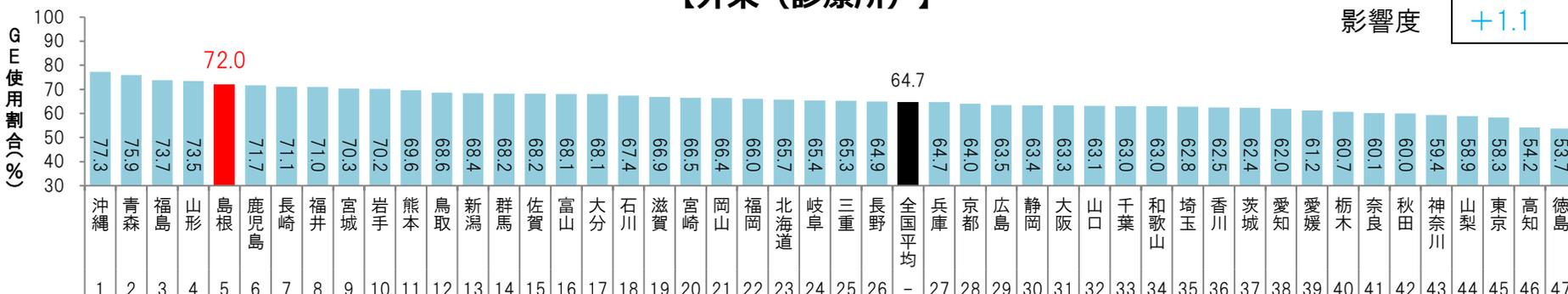
## 【外来（病院）】

影響度 +0.0



## 【外来（診療所）】

影響度 +1.1

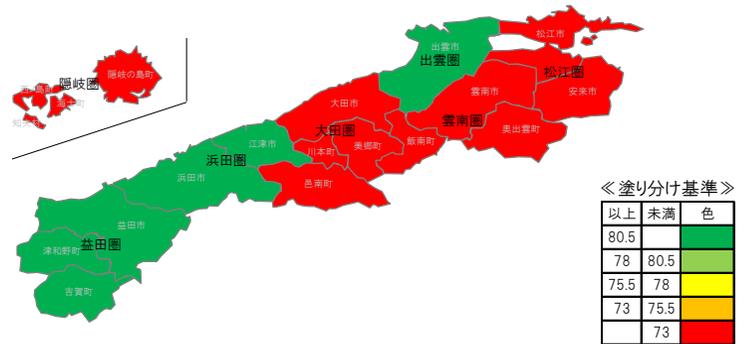


# 島根支部／二次医療圏別GE使用割合／院内処方

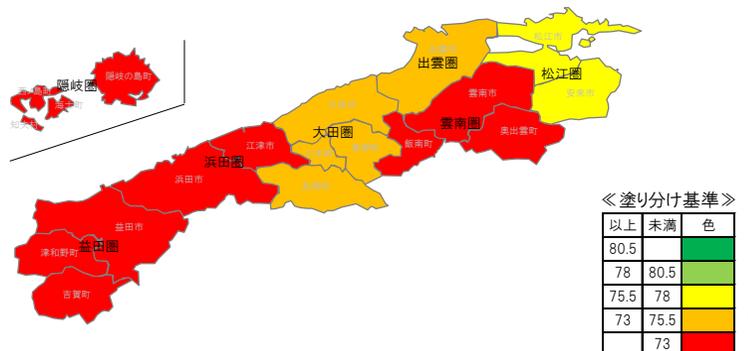
## 【入院】



## 【外来（病院）】



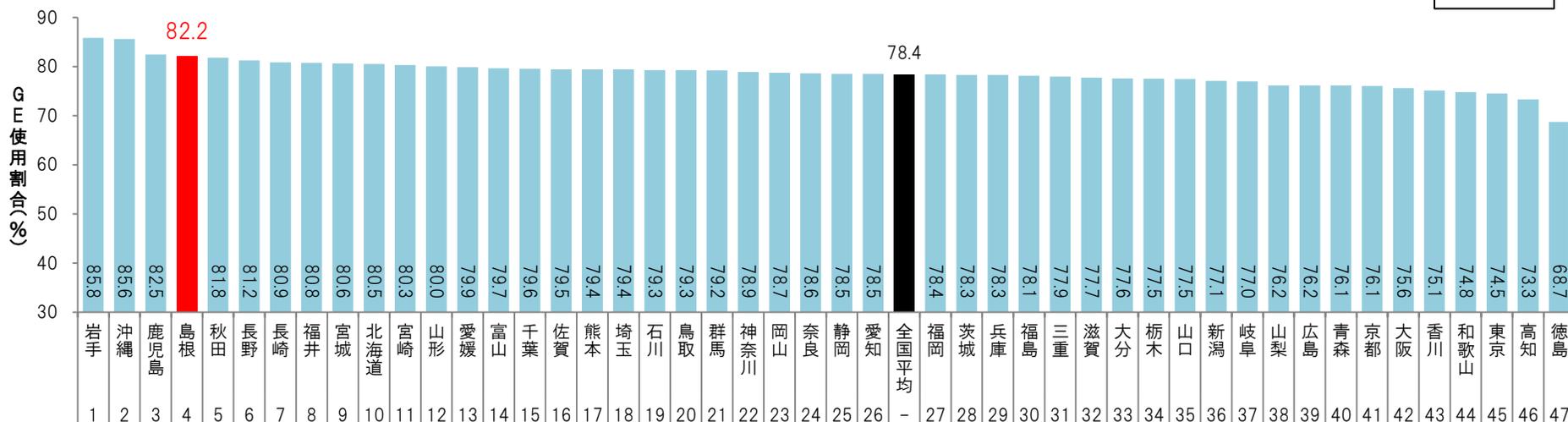
## 【外来（診療所）】



# 支部別GE使用割合／院外処方

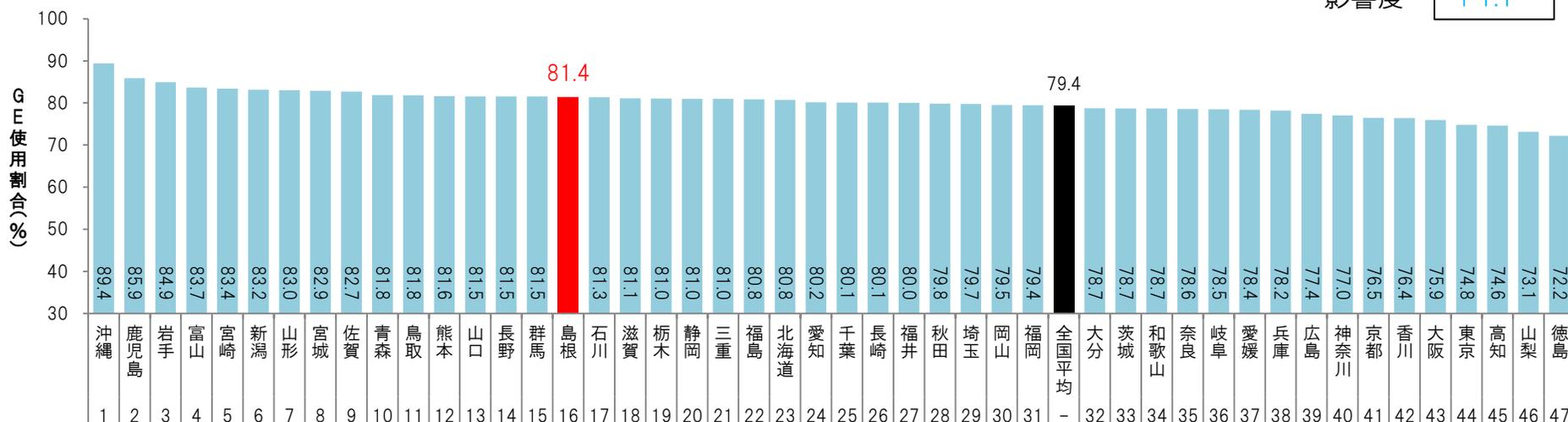
## 【病院】

影響度 +0.9



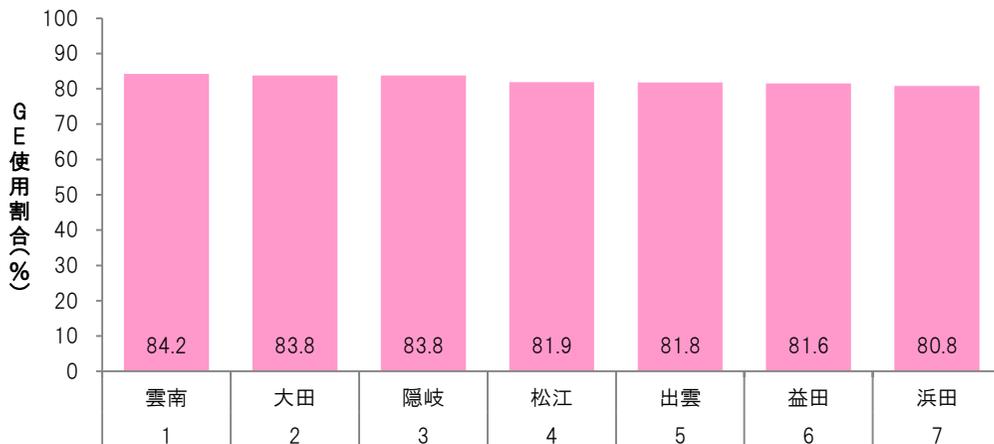
## 【診療所】

影響度 +1.1

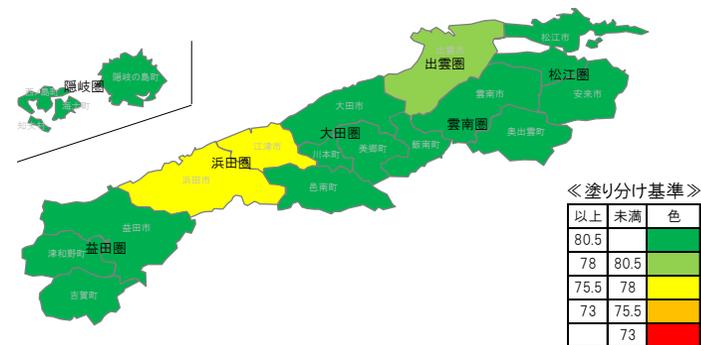


# 島根支部／二次医療圏別GE使用割合／院外処方

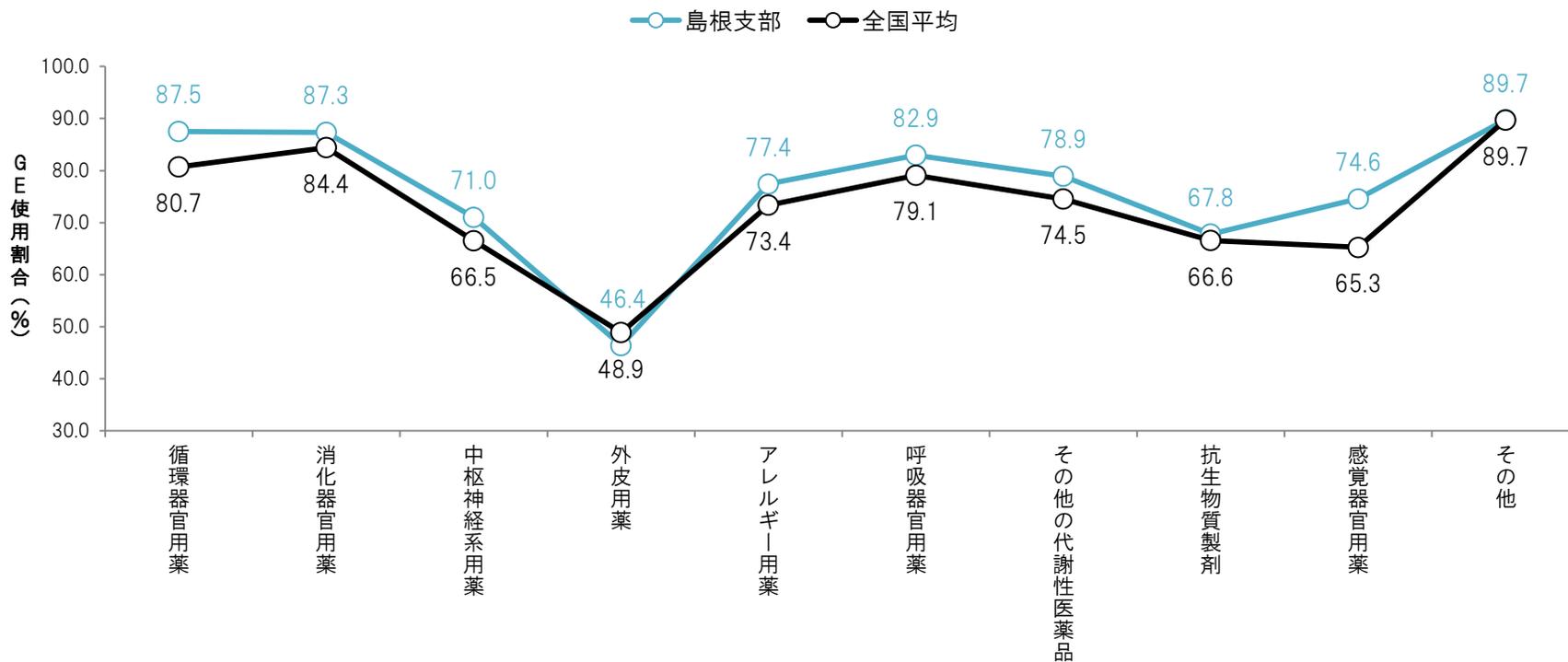
## 【病院】



## 【診療所】



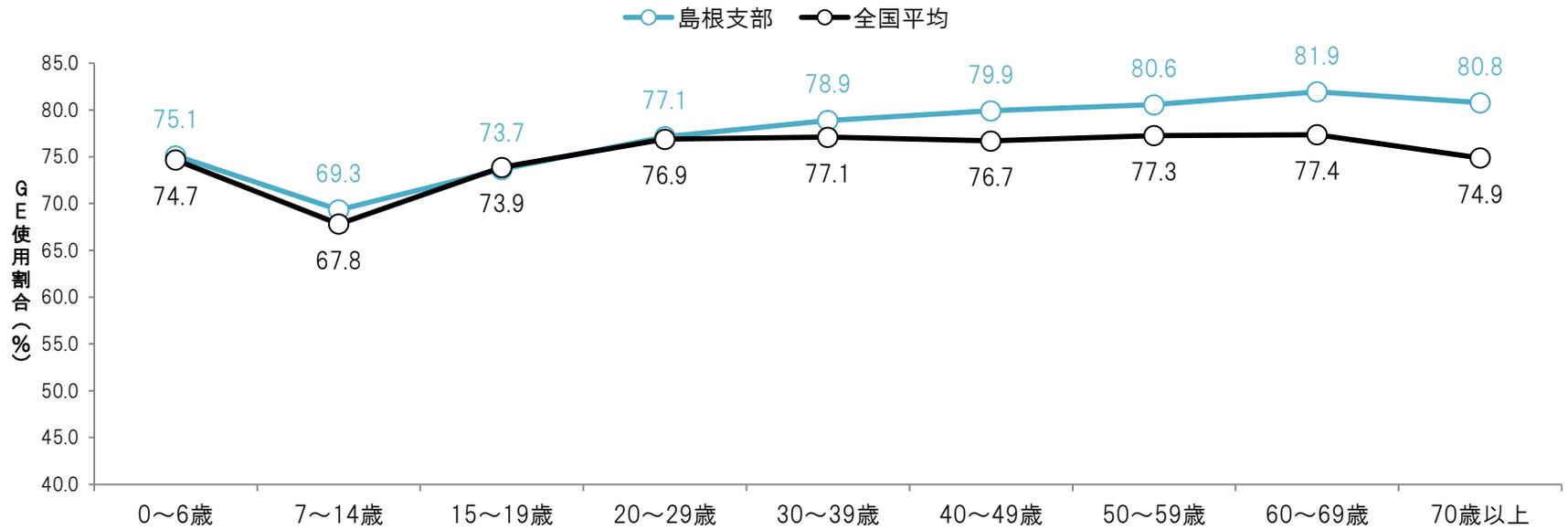
# 島根支部／薬効別GE使用割合



影響度

+1.6	+0.4	+0.7	-0.2	+0.3	+0.3	+0.2	+0.0	+0.2	+0.0
------	------	------	------	------	------	------	------	------	------

# 島根支部／年代別GE使用割合



影響度

+0.02

+0.06

+0.00

+0.01

+0.15

+0.46

+0.71

+1.40

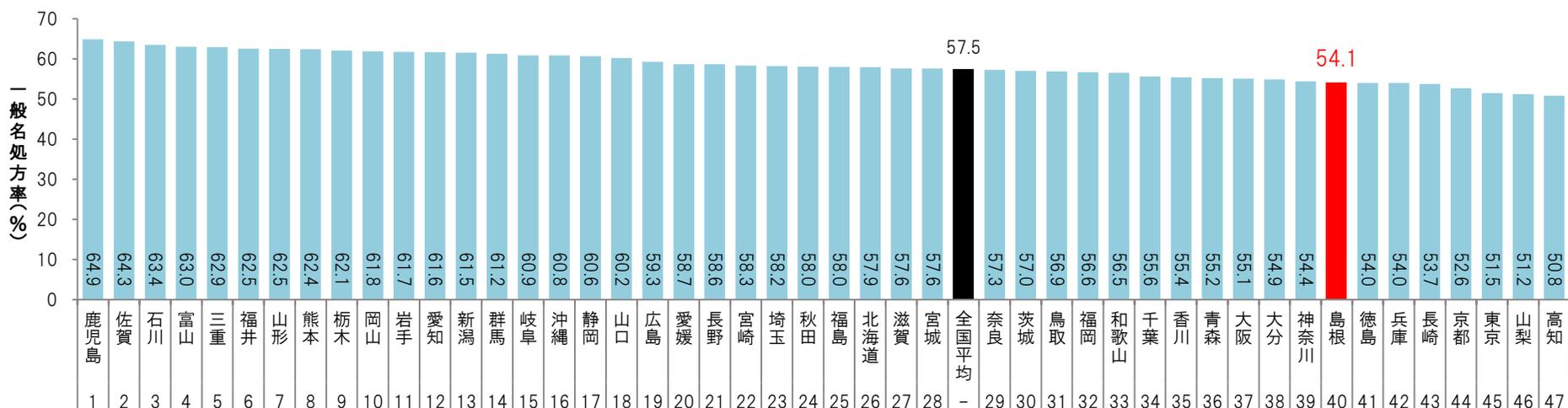
+0.61

# 【参考】支部別一般名処方率

## 【病院】

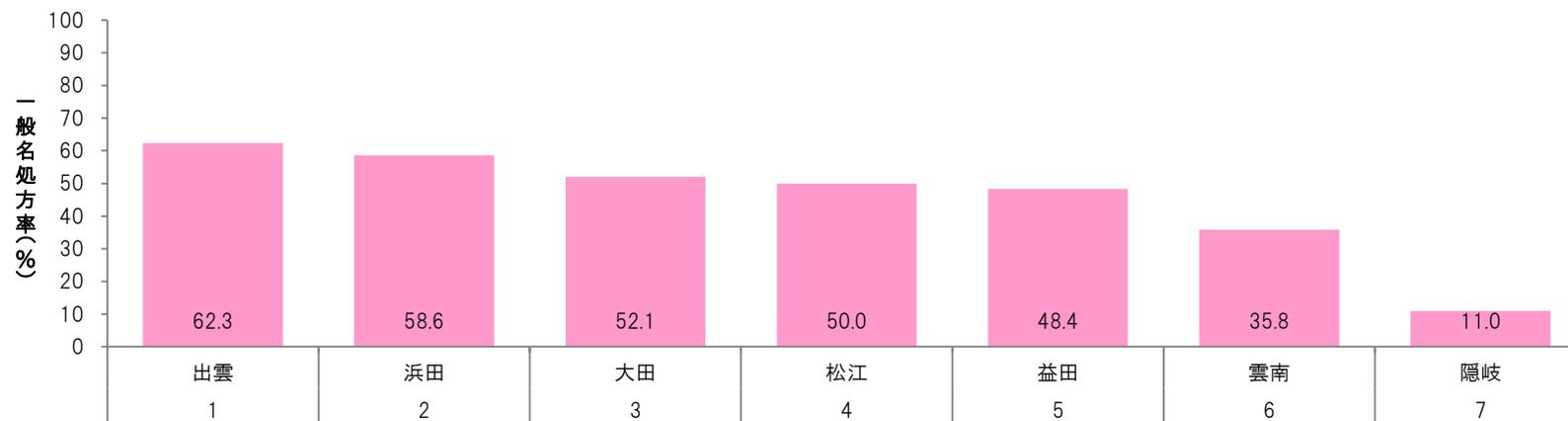


## 【診療所】



## 【参考】島根支部／二次医療圏別一般名処方率

### 【病院】

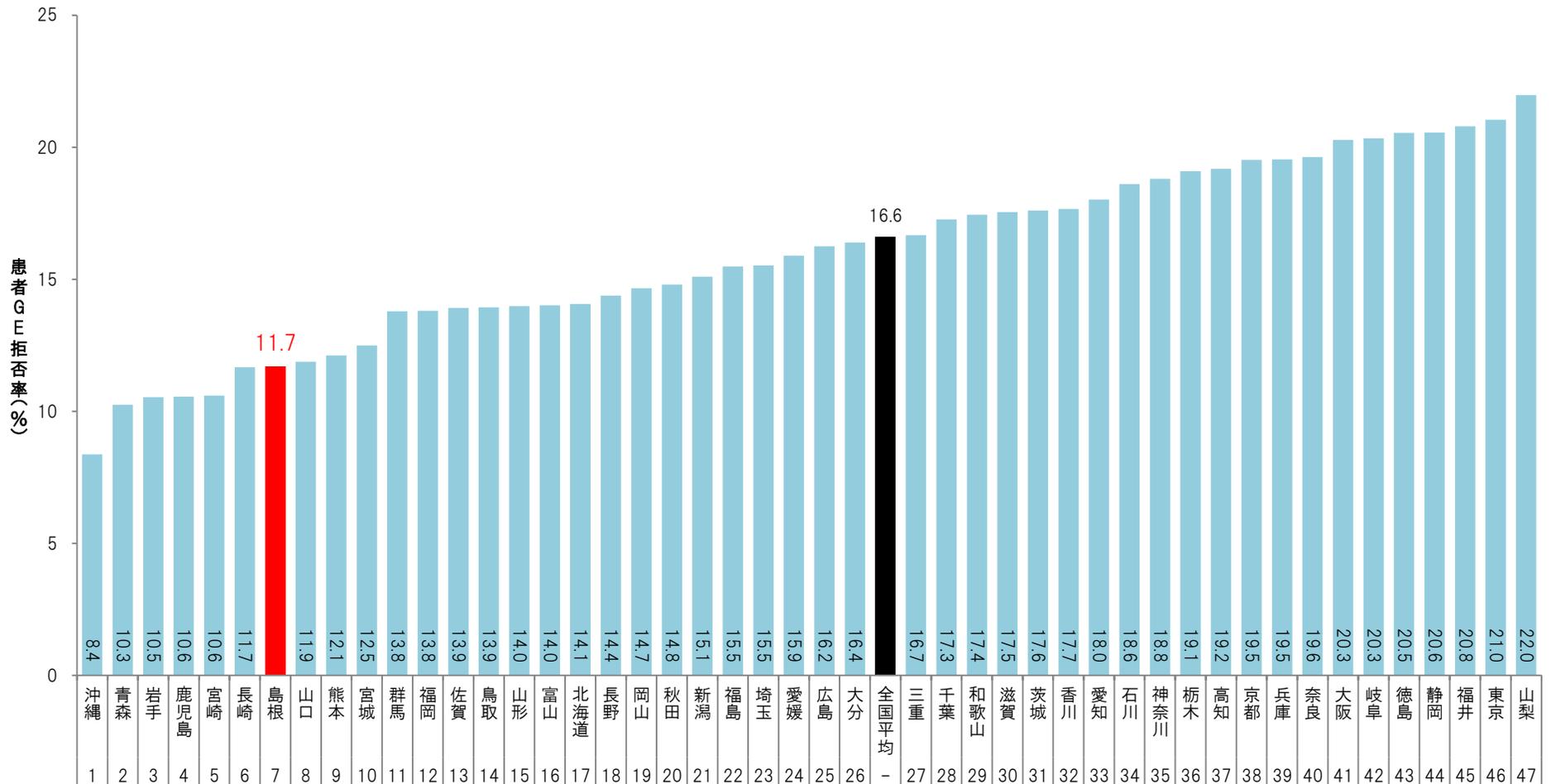


### 【診療所】



## 【参考】支部別患者GE拒否率

「調剤レセプトの患者の都合で後発品を調剤しなかったコメントレコードのあるレセプト数」を「一般名処方加算が存在する医科レセプト」で除して算出



## 【参考】島根支部／二次医療圏別患者拒否率

「調剤レセプトの患者の都合で後発品を調剤しなかったコメントレコードのあるレセプト数」を「一般名処方加算が存在する医科レセプト」で除して算出



## 【参考】島根支部／ジェネリック医薬品軽減額通知による効果額（H21～H30）

	一回目通知				二回目通知			
	通知件数	切替者数	切替率	軽減額／月(円)※1	通知件数	切替者数	切替率	軽減額／月(円)※1
平成21年度	10,111	2,873	28.4%	4,773,123				
平成22年度	4,067	851	20.9%	1,118,944				
平成23年度	5,646	1,379	24.4%	2,034,690	0	0	0.0%	0
平成24年度	6,892	1,867	27.1%	2,648,533	1,944	522	26.9%	778,433
平成25年度	8,772	2,207	25.2%	2,982,218	3,298	1,070	32.4%	2,227,728
平成26年度	10,700	3,173	29.7%	4,811,214	10,502	2,792	26.6%	4,053,804
平成27年度	11,730	3,455	29.5%	4,977,417	12,427	3,696	29.7%	5,347,228
平成28年度	19,518	5,290	27.1%	7,689,071	18,872	5,045	26.7%	7,019,765
平成29年度	23,015	6,873	29.9%	10,637,609	21,683	8,008	36.9%	14,238,262
平成30年度	22,603	6,679	29.5%	9,270,275	18,022	5,442	30.2%	8,443,421
累計※2	209,802	61,222	29.2%	1,116,620,832				

### 【参考】全国ベース

	通知件数	切替者数	切替率	軽減額／月(円)※1
累計※2	33,015,833	9,032,580	27.4%	164,024,964,713

※1 軽減額／年：軽減額(月)×12ヶ月(単純推計)

※2 平成21年度から平成30年度2回目通知までの累計(人数はのべ人数)

10年間で  
約11億円の効果額



作成

**全国健康保険協会島根支部 企画総務グループ**  
〒690-8531 松江市殿町383 山陰中央ビル  
TEL.0852-59-5140 FAX.0852-59-5354



協会けんぽ島根支部キャラクター  
しまめちゃん